

報道関係各位

2014年 3月 4日

2014年3月14日に複雑系研究コンペ「第14回MASコンペティション」を開催
～社会現象に対する新たな知見の獲得や、交通・防災分野の施策検討へ
シミュレーションの利活用を拡げる～

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長 CEO：服部正太）は、2014年3月14日（金）に複雑系研究コンペ「第14回MAS（マルチエージェント・シミュレーション）コンペティション」を本所新館（東京都中野区）にて開催いたします。

構造計画研究所は、1996年から米国サンタフェ研究所のビジネスネットワークに参画し、複雑系分野の研究を継続してまいりました。現在、自社開発した日本発のマルチエージェント・シミュレータ「KK-MAS」[artisoc（アーティソック）]のパッケージ販売およびコンサルティング事業を行うとともに、本技術の普及に努めています。MAS コンペティションは「artisoc」を使っている方々に、その成果を発表いただき、ユーザ間の技術および情報交換の場を提供すると同時に、今後の更なる普及活動に向けての情報収集を目的とするものです。

開催14年目となる今年度は、「シミュレーション結果分析を超えたMASの利活用」をテーマに開催いたします。特に、社会現象に対する新たな知見の獲得や仕組みを理解するための網羅的シミュレーションや、交通・防災分野の施策検討に可視化された結果に用いる参加型シミュレーションに焦点を当て、以下の先生方による特別講演を企画しています。

特別講演：

- 東京大学大学院 和泉 潔 先生
「可能世界ブラウザ：ビッグデータの先を見るためのシミュレーション」
- 北陸先端科学技術大学院大学 橋本 敬 先生
「構成論的シミュレーションの考え方に基づいたエージェントシミュレーションの事例」

また、コンペティションでは、自由なテーマから11編の研究内容を発表して頂き、活発な議論を行います。



【図1. 昨年度のコンペティションの様子（左：発表風景、右：参加者集合写真）】

■ 第14回MAS コンペティション開催要項

日時：3月14日（金）9:30～18:00

会場：株式会社構造計画研究所 新館 B1 レクチャールーム

発表：1名（チーム）あたり25分（質疑応答含む）

審査員：

- 審査委員長 青山学院大学 山影 進 先生
- 審査委員（五十音順）

東京大学大学院	和泉 潔 先生
筑波大学	稲水 伸行 先生
東京工業大学大学院	寺野 隆雄 先生
防衛大学校	生天目 章 先生
明治大学	水野 誠 先生

コンペ形式について：

- 自由なテーマから11編の研究発表を發表いたします
- 「適用・利活用として優れている」または「学術的・実務的に優れている」の二つの観点で審査いたします
- それぞれの観点につき、優秀賞を1～2名（またはグループ）、さらにその中から最優秀賞に値する発表があった場合は最優秀賞を1名（またはグループ）選出いたします

※ 詳細につきましては、MAS コミュニティサイト（下記URL）をご覧ください：

<http://mas.kke.co.jp/modules/tinyd3/>

■ マルチエージェント・シミュレーション (MAS) について

マルチエージェント・シミュレーションとは、人間行動や経済現象・社会現象について、複数の自律的に行動するエージェント（例えば、人間）が独自の行動ルールを持って行動し、それらが相互作用することで現れる社会的な振る舞いを理解するためのシミュレーション手法です。いくつもの要素が複雑に絡み合うために従来では解釈が困難であった社会現象を理解する上で有効で、防災・避難、マーケティング、交通・人流、市場取引、合意形成、都市計画、建築設計などの分野で、広く活用されています。

■ マルチエージェント・シミュレータ「artisoc」について

artisoc (Artificial Societ : 人工社会) は、自律的に行動するエージェントの行動ルールおよび相互作用を定義し、コンピュータの中に人工的な社会を構築することで、ダイナミックに変化する社会などの複雑系を再現・分析するマルチエージェント・シミュレータです。artisocには、モデルを記述するためのGUI環境が提供されており、誰もが簡単にモデルを構築できることをコンセプトとしています。様々な社会現象を扱うことが可能で、適用例は、電力取引自由化、雇用政策、排出権取引といった制度設計・政策の評価から、津波・洪水発生時の避難、災害救援物資の輸送、店舗・道路の人流・渋滞などを含む防災、避難、交通といった環境評価まで多岐にわたっています。

シミュレーション事例はMAS コミュニティサイト (<http://mas.kke.co.jp/>) からご覧いただけます。

■ 関連書籍の出版に関して

- 2010年「artisocで始める歩行者エージェントシミュレーション～原理・方法論から安全・賑わい空間のデザイン・マネジメントまで～」兼田敏之 編者代表、構造計画研究所創造工学部、名古屋工

業大学兼田研究室 著」 書籍工房早山

- 2007年「人工社会構築指南 山影進 著」 書籍工房早山
 - 2002年「コンピュータのなかの人工社会 編者 服部正太、山影進」 共立出版
 - 1999年「人工社会 服部正太、木村香代子 訳」 共立出版
- 詳細：http://www.kke.co.jp/publication/decision_making/

■ 会社情報：株式会社構造計画研究所（<http://www.kke.co.jp>）

構造計画研究所は1956年に建物の構造設計業務からスタートし、それら人工構築物を取り巻く自然現象（地震、津波、風など）の解析やシミュレーションを行う業務を手がけ、さらにはソフトウェア開発をはじめとする情報通信分野、CAD/CAEなどの製造分野、そして人間の意思決定支援分野にまで事業領域を広げてきました。当社は知の循環から生まれる「工学知」を用いてより高い付加価値を提供する知識テクノロジー企業として、また「Professional Design & Engineering Firm」として、組織や社会が抱える課題を解決いたします。現在は、特に「安心・安全ソリューション」「スマートビジネス」「合意形成支援ビジネス」を重点テーマとしてとらえ、高い品質を強く意識したエンジニアリングコンサルティングを展開しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

- ・MASコンペティション、artisocに関する窓口
株式会社構造計画研究所 創造工学部 坂平
TEL:03-5342-1125 e-mail: mascompetition14@kke.co.jp

- ・報道メディア関係窓口
株式会社構造計画研究所 広報担当 竹田／守武
TEL:03-5318-3091 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。

※ 当社では、お客様やパートナーから発表のご承認をいただいた案件のみを公表させていただいております。ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。